

看護週間のイベントを行いました

5月12日は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、「看護の日」と制定されています。そして、その日を含む週の日曜日から土曜日までを「看護週間」として全国で様々なイベントが行われています。

当院では『看護でつながる笑顔の輪』をテーマとし、以下の行事を行いました。

月 日	行事名	内 容
5/14(水) 14:00～	救急講習会	一般向け救急講習会
5/16(金) 14:00～	院内コンサート 「歌でつながる笑顔のコンサート」	当院職員(医師・看護師・医療職)による演奏と歌
5/12～5/16	写真展 メッセージカードのプレゼント	看護場面の写真の掲示 メッセージカードの配布

救急講習会では、倒れている人を発見した際の意識の確認や心臓マッサージなどの基本行動や設置が広まっている「AED」の使用方法について説明し、実際に体験していただきました。参加者からは「雨が降っている中での対処方法は？」などの質問もあり、盛況な講演会でした。

「歌でつながる笑顔のコンサート」は、入院患者さんをはじめご家族など約200人もの聴衆が集まりました。参加者の皆さんと共に振付をしながらかうことで、「笑顔」が広がるのを実感しました。

看護の一場面を展示した写真展では、ご覧いただいた方から「患者さん達の笑顔と看護師さん達の笑顔が印象的で良かった。信頼されている証拠ですね。」「一人の笑顔がみんなの笑顔に変わります。お互い頑張りましょう!!」などの温かいお言葉をいただきました。

入院中の患者さんには、少しでも元気になっていただきたいという思いを込め、メッセージカードを配布しました。



「看護の日」制定の趣旨

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。

こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。(看護協会ホームページより)